

令和6年2月1日

☆☆南の風500☆☆

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

この度、『南の風』が500号を迎えることができました。これもひとえに読者の皆様の応援とご愛読のお陰と心より感謝申し上げます。ありがとうございました！！

南の風1号は平成24年の4月と記憶しています。今年で13年となります。500号ですから単純に計算して年に約38回、ひと月では約3回の発行となります。皆様のご愛顧のお陰を持ちまして続けております。

今後とも内容にご意見、ご要望がございましたら連絡ください。よろしくお願い致します。

現在、鈴木良和氏の考え方をとり上げていますが、私は基本的に彼の考えに賛同しています。皆さんにも必ずや指導の参考になると考え、継続掲載しております。もうしばらくお付き合いください。

前号の続きになります。

これは二つのことを追うとどちらも手に入れられない、だから欲張ってはいけないという意味です。しかしこれは兎を探していたら突然目の前に二兎現れたという前提条件でのことわざです。このことわざ通りに考えると、「OR（オア）の抑圧」という力学に縛られてしまいます。

ORの抑圧とは、相反する二つのことを同時に手に入れることは不可能だとする理性的な考え方です。例えば、チームの規律を強めればルールを逸脱することは許さない。逆にルールを逸脱することをよしとすれば、規律も緩めてしまうといったことです。

会社組織で言えば、企業理念を徹底して教育する代わりに、社員の自主性を奪うということです。もしくは、社員の自主性を尊重する代わりに、会社の理念の徹底は諦めるという具合です。

コーチも同じです。相反する二つのことを手にする準備と努力をするのが魅力的な指導者の姿勢です。さまざまなことを二面から考えて、戦略を練ったり組織を作ったりする。優しい指導と厳しい指導で選手を引きつける。緻密な戦術と大胆なかけひきを使い分ける。すべて二兎を追う好意です。

この一見相反していて両方手に入れるのは難しいと思えることを、矛盾なく体現できることがANDの才能です。これが一流の人物、一流の組織の特徴的な性質なのです。

コンクリートブロックで壁を作ろうとするときは、ブロックとブロックの間に「モルタル」と呼ばれる建築材料を使います。モルタルがなければただブロックが積み上がっているだけで壁にはならないのです。チームマネジメントピラミッドも同じです。各ブロック同士が影響し合うことで、より強固なものとなります。

チームマネジメントの「規律」の上に「コンディショニング」があり、その上に「価値観」があります。

「価値観」の中には自主性などが含まれています。まさに、下のブロックである規律と上のブロックにある価値観の中の自主性はANDの才能です。この相反する二つのことを同時に手に入れることで、コンディショニングというブロックは高いレベルに昇華されます。続きは次号にします。